



青パト”まもるくん”の防犯ニュース

和歌山市危機管理部 地域安全課

13年連続で減少！和歌山市内の刑法犯認知件数

平成13年に比べて7,294件減少して4,019件（暫定値）に！

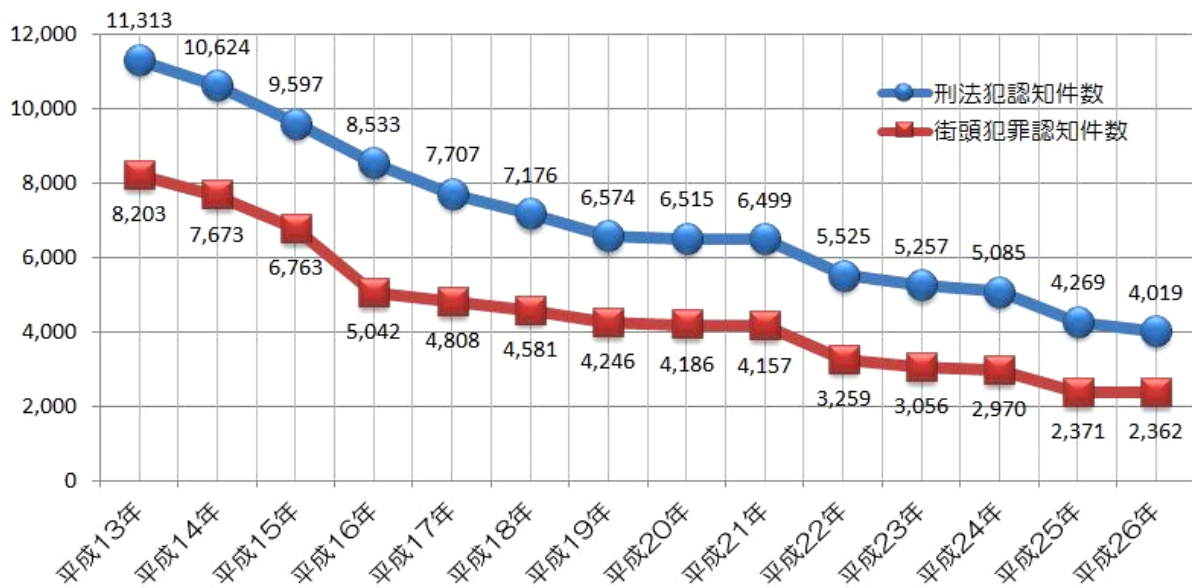
平成26年1月～12月における刑法犯認知件数が4,019件となり、平成13年から13年連続の減少となりました。平成13年の刑法犯認知件数が11,313件でしたので、実に約64%以上減少したことになります。

また、街頭犯罪認知件数についても、13年連続で減少しており、平成26年には、2,362件まで減少しました。

しかしながら、人口千人あたりの犯罪率では10.98となっており、和歌山県内市町村の中ではワースト2位となっています。犯罪被害の中には、カギを掛けずに被害に遭っているものも多く、2つ以上のカギを掛けるツーロックなど、様々な防犯対策を心がけましょう。

※平成26年の件数については全て暫定値です。

刑法犯認知件数の推移グラフ



13年連続の減少！
次は、14年連続の減少を目指して、防犯に取り組みましょう！

和歌山県内の刑法犯認知件数も13年連続で減少！

和歌山県内における刑法犯認知件数は、12月末時点で8,704件と、前年比で406件の減少となり、平成13年から13年連続の減少となりました。

しかしながら、都道府県別の人口千人あたりの犯罪率で見ると、平成26年は8.89で全国ワースト16位でした。平成25年の犯罪率が9.23でしたので、改善の傾向が見られるものの、依然として犯罪率が高くなっています。

また、この刑法犯のうち、最も多発しているのが1,506件発生している「自転車盗」で、全体の17.3%を占めています。この内、約76%がカギを掛けずに被害に遭っており、自転車を離れる時は、少しの時間でもカギを掛けるとともに、種類の異なる2つ以上のカギを掛けるツーロックを実践しましょう。 ※平成26年の数値は全て暫定値。